

容器一覧

容器一覧

容器番号	容器	備考
01	汎用容器（分離剤入り）	
		容量 6mL・8.5mL 添加剤 保管方法 常 有効期間 1年
	主な検査項目	
02	汎用容器	
		容量 4mL・10mL 添加剤 保管方法 常 有効期間 3年
	主な検査項目	
03	汎用容器（分離剤なし）	
		容量 9mL 添加剤 保管方法 常 有効期間 1.5年
	主な検査項目	
04	グルコース・HbA1c用容器	
		採取量 2mL 添加剤 NaF EDTA-2Na 保管方法 常 有効期間 1.5年
	主な検査項目	
	グルコース、ヘモグロビン A1c	
07	シクロスボリン・タクロリムス用容器	
		採取量 5mL 添加剤 EDTA-2Na 保管方法 常 有効期間 2年
	主な検査項目	
	シクロスボリン、タクロリムス	
08	アプロチニン容器	
		採取量 2mL 添加剤 EDTA-2Na アプロチニン 保管方法 常 有効期間 1年
	主な検査項目	
	hANP	
13	血液学容器	
		採取量 2mL・3mL・4mL 添加剤 EDTA-2K 保管方法 常 有効期間 1.5年
	主な検査項目	
	末梢血液一般検査、血液像、血液型、直接クームス試験、その他	
14	内分泌学用容器	
		容量 5.5mL 添加剤 EDTA-2Na 保管方法 常 有効期間 1.5年
	主な検査項目	
	レニン、アンジオテンシン、サイクリック AMP、その他	
15	血液凝固検査用容器	
		採取量 1.8mL 添加剤 3.2% クエン酸 Na 0.2ml 保管方法 常 有効期間 1年
	主な検査項目	
	凝固因子活性、PT、APTT、FIB、AT III、血中 FDP、その他	
25	尿一般容器	
		容量 10mL 添加剤 保管方法 常 有効期間 3年
	主な検査項目	
	尿一般検査	
27	滅菌スピッツ管	
		容量 10mL 添加剤 保管方法 常 有効期間 3年
	主な検査項目	
	尿細菌検査	

■ 容器取扱い・保管上のご注意

有効期間は包装開封前のものです。

検査でご使用になる容器のうち、特に添加剤の含むものについては、その取扱・保管には十分なご注意をお願い致します。

- ・小児や患者の手の届かない所に保管して下さい。
- ・誤飲しないように取扱・保管には注意して下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合、直ちに医師へ連絡をして下さい。
- ・使用の際、手足や、皮膚、特に目にかかるないように注意して下さい。
- ・眼に入った場合は、直ちに流水でよく洗い、医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に触れた場合には、石けんを使ってよく洗って下さい。

容器番号	容器	備考	容器番号	容器	備考	容器番号	容器	備考
31	便中ヘモグロビン採便管		32	呼気採取バッグ		51	血中エンドトキシン・ β -D-グルカン用容器	
		採取量 約0.5g 添加剤 保管方法 常 有効期間 1.5年			採取量 各250mL 添加剤 保管方法 常 有効期間			採取量 3mL 添加剤 ヘパリンNa 保管方法 常 有効期間 2年
	主な検査項目 便中ヘモグロビン《ラテックス》			主な検査項目 尿素呼気試験			主な検査項目 エンドトキシン、(1→3)- β -D-グルカン	
62	ウイルス遺伝子検査用容器							
		採取量 5mL 添加剤 保管方法 常 有効期間 1年			採取量 添加剤 保管方法 有効期間			採取量 添加剤 保管方法 有効期間
	主な検査項目 HBV-DNA定量《TaqManPCR法》、HBV pre-C、HIV-抗原・抗体			主な検査項目			主な検査項目	
		採取量 添加剤 保管方法 有効期間			採取量 添加剤 保管方法 有効期間			採取量 添加剤 保管方法 有効期間
	主な検査項目			主な検査項目			主な検査項目	
		採取量 添加剤 保管方法 有効期間			採取量 添加剤 保管方法 有効期間			採取量 添加剤 保管方法 有効期間
	主な検査項目			主な検査項目			主な検査項目	
		採取量 添加剤 保管方法 有効期間			採取量 添加剤 保管方法 有効期間			採取量 添加剤 保管方法 有効期間
	主な検査項目			主な検査項目			主な検査項目	

■ 容器取扱い・保管上のご注意

有効期間は包装開封前のものです。

検査でご使用になる容器のうち、特に添加剂の含むものについては、その取扱・保管には十分なご注意をお願い致します。

- ・小児や患者の手の届かない所に保管して下さい。
- ・誤飲しないように取扱・保管には注意して下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合、直ちに医師へ連絡をして下さい。
- ・使用の際、手足や、皮膚、特に目にかかるないように注意して下さい。
- ・眼に入った場合は、直ちに流水でよく洗い、医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に触れた場合には、石けんを使ってよく洗って下さい。